

消化器内科初期研修プログラム

【担当指導医】 大田 悠司

一般臨床医に求められる消化器領域の疾患の診察をすることができ、適切な検査の選択や技術の習得を目標とする。

- ・ 消化器病全般にわたる病態を理解し、患者さんおよび家族から適切な病歴聴取を行うこと、診察を行うことができる。
- ・ 指導医とともに外来および救急外来で診察にあたり、緊急を要する疾患では専門医への早急なコンサルトができる。
- ・ 指導医による患者さんおよび家族へのインフォームドコンセントに同席する。
- ・ 下記A) に示す診断法の適応や結果を理解することができる。また、検査の侵襲度を理解し、患者さんおよび家族に必要性和危険性を説明できる。
- ・ 指導医のもとで、下記B) に示す手技を実施、或いは介助ができる。
- ・ 症例のプレゼンテーションが適切に行え、カンファレンスで発言・討議が可能となる。また、症例報告等の発表を行う。

A) 1. 腹部超音波検査

2. 上部消化管造影X線検査
3. 小腸造影X線検査
4. 注腸造影X線検査
5. 各種画像診断法の解釈
6. 上部消化管内視鏡検査
7. 下部消化管内視鏡検査
8. 逆行性膵胆管内視鏡検査
9. 胸水、腹水試験穿刺
10. 肝生検、試験生検
11. 切除材料病理検討

B) 1. 出血性ショックに対する全身管理

2. 胃チューブの挿入、胃洗浄
3. イレウス管の挿入
4. 胸水、腹水穿刺
5. 中心静脈栄養法
6. 消化管出血の内視鏡的止血治療
7. 内視鏡的粘膜切除術
8. 食道静脈瘤硬化術
9. 肝癌ラジオ波治療
10. 胆道ドレナージ法
11. 内視鏡的胃瘻造設法
12. 進行癌に対する化学療法